

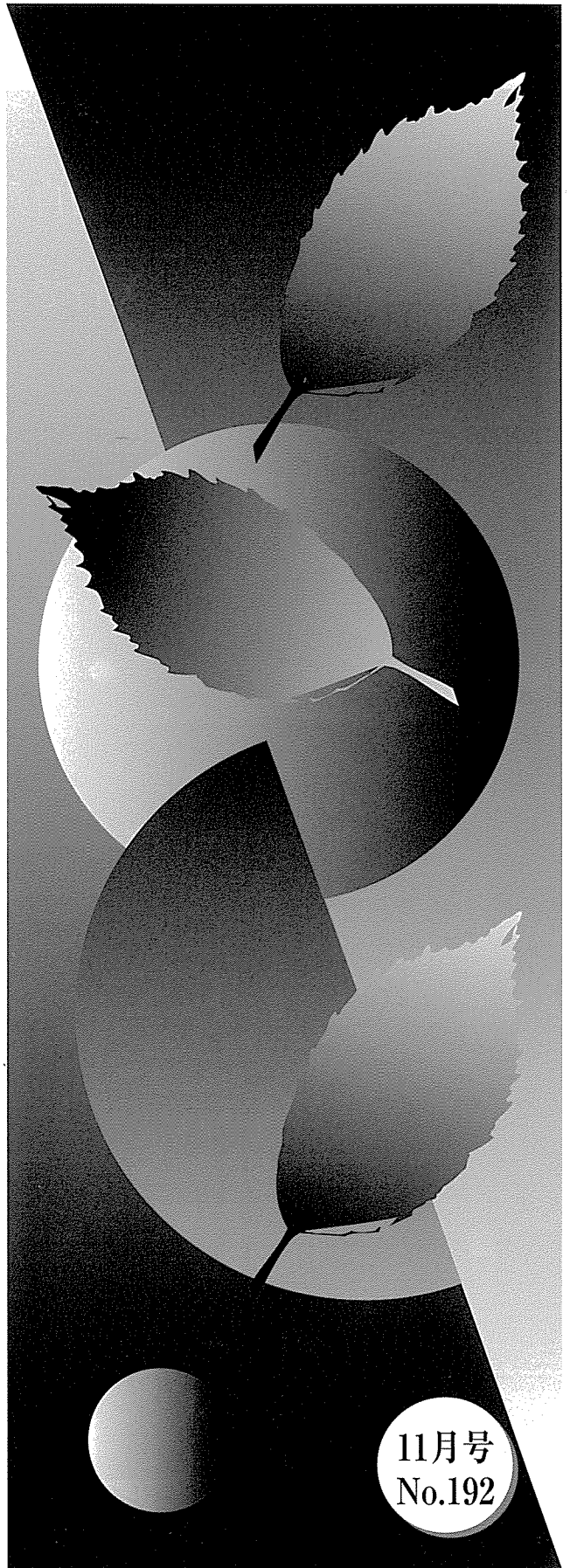
月刊

建材

ナビ

特集 ビルファサード・エントランスの
高意匠化・高機能化を進める
ステンレスフロント市場

特集 メンテナンスコストを抑える高意匠・
高耐候の高級品拡大を急ぐ窯業系外装
材／住宅外装リフォームの主力として
拡大する金属サイディング



11月号
No.192

ミルト出版会

〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87

ト-1-407号

☎042-484-4507

FAX 042-484-4509

発行人 堤 祥行

年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 11月号-No.192 目次

特集 ビルファサード・エントランスの高意匠化・高機能化を進めるステンレスフロント市場 6

特集 メンテナンスコストを抑える高意匠・高耐候の高級品拡大を急ぐ窯業系外装材／住宅外装リフォームの主力として拡大する金属サイディング 12

[環境・健康建材コーナー] 4

[新製品・新技術情報／業界の動き] 18

© Miruto Shuppankai Ltd.2014 無断転載・コピーを禁ず



時代の変化や要求に応じた製品とサービスの質的向上を目指します。

NABCO

ナブコシステム株式会社

営業統括部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目22番15号
TEL.(03)3593-0181 FAX.(03)5251-3848

http://www.nabcosystem.co.jp/

三協立山株式会社・三協アルミ社の蒲原彰三社長に聞く

住宅、ビルともリフォーム事業を拡大、「一新助家」加盟店 1000 店目標、ビル工事職人「三工会」が強み

三協立山株式会社・三協アルミ社の蒲原彰三社長は、このほど日本建材新聞協会との記者会見で、「今後の販売戦略は住宅、ビルともリフォーム抜きには語れない」と、リフォーム向け商品の展開を既存の代理店ルートと連携しながら進めていく姿勢を強調し、次のように語った。

* *

——今後の販売戦略について？
蒲原 今期、消費税の反動が予想されるが、そうしたことはとられないベースの部分で稼げる企業体質にしていくには、商品力と営業力を両輪と考えて、それを強化しVISION2020達成に向けた施策をすすめている。販売戦略のリフォーム需要対策では、商品と営業・流通の2つがある。商品に関しては環境技術を活かした商品を投入していくこと、営業面では代理店さんが商売しやすい環境をメーカーとして作らなければならないと考えている。

そのために、全国区で「ドラえもん」のキャラクターを契約し、TVコマーシャルを始めた。それによって会社の認知度をあげていき、地域で私共を支持していただいている代理店さんが商売をしやすいように、商品提案やリフォームキャンペーンに「ドラえもん」キャラクターを活用していく。

住宅リフォーム事業を展開する「一新助家」は、現在600店弱の加盟店があるが、これを少なくとも

「まわりにおすすめていた
けるメーカーになりたい」



も1000店までもっていきたい。そのために流通向けのセミナーを定期的に地道にやっけていき、裾野を広げたいと考えている。

ビル建材の直面する問題は受注しても職人さんがいないことだが、幸いにも私どもには40年ほど前に組織された「三工会」という工事職人さんの組織があることが大きな強み。職人不足は、全体的になり手がなく、高齢化していることが原因だが、メーカーとしても新しい人材を確保できるようにサポートするなど、職人さんからさらに支持していただけるような環境づくり、仕組みづくりをすすめている。

いずれにしても住宅もビルもリフォーム抜きには語れない状況なので、しっかりとコミットしていきたい。

台湾軸に海外展開、フィリピンの日本国内向け樹脂窓の窓種を強化

——建材の海外事業展開と樹脂窓について？

蒲原 海外事業は、台湾の三協大同が今年12月で丸3年になるが、ようやく食べられるようになった。日本でいえば高級ゾーン向けに特化した展開で、そこを足掛

かりに今後どのようにするか考えていく。

フィリピンは、日本国内向けに樹脂窓「スマージュ」「トリプルスマージュ」を、今年4月から完成品出荷を開始した生産子会社。お客様の要望に応じて窓種を増やすことも検討中だが、完成品出荷なので無駄なストックがないようにしていくことが肝要になる。

樹脂窓は、福岡西工場で国内の特寸特注に応じて生産している。さらに、流通段階でも樹脂窓を扱いたいとの要望が多ければ、ルートを大事にするという当社の立場から、どのような形で協力できるか検討しているところだが、その場合、樹脂窓の性能保証、品質管理が問題になってくる。

今後、樹脂窓の展開をどうみるかはメーカーによって違いがある。住宅の性能は、開口部だけではなく壁や天井、床を含めた家1棟全体の性能として対応していくとの立場で、環境に応じた窓の使い方を提案していく。アルミ樹脂複合窓を主力商品として展開することになってくる。

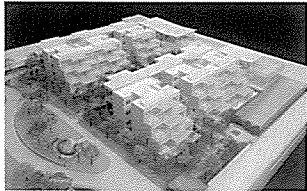
——新商品開発について？

蒲原 建築家とのコラボレーション「SACLAB」は、エクステリアにつづき住宅でも進めている。「SACLAB」は、他社にない先を行く差別化商品の開発が目標。ちょっと上の性能、機能をつけて、選ばれるメーカーになる、選ばれたら使っていただく、使ってもらったら喜んでもらえる、三協の商品はいいよと、まわりに口コミでもお薦めいただけるようなメーカーになりたいと思っている。

【環境・健康建材コーナー】

YKK/YKK不動産

黒部の自然のポテンシャルを活かしたローエネルギーの街と住まいづくり「パッシブタウン黒部モデル」着工



YKK不動産(吉田忠裕社長)は10月20日、「パッシブタウン黒部モデル」第1期街区新築工事の地鎮祭を挙行了。また同日付でYKK不動産黒部事務所を開設した。

「パッシブタウン黒部モデル」は、黒部における自然環境を活かしたローエネルギーの街づくり・住まいづくり(全8街区)を進めるプロジェクト。

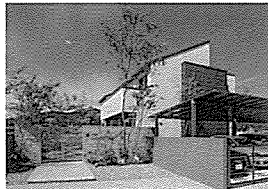
第1期街区の主な特長は、建物配置やランドスケープデザインなどで気候風土を活かすこと。徹底した外断熱コンクリート造住戸と鉄骨造のバルコニー・廊下の空間構成により、大幅なエネルギー削減と四季を通じて自然に親しむ心地よさを両立する暮らしの実現。黒部の水資源、バイオ資源など、地域の再生可能エネルギーを活用すること。こうしたパッシブデザインの採用によって、一般的な北陸地域の集合住宅に比べてエネルギー消費70%削減を目標に掲げる。設計:エステック計画研究所(建築)・プレイスメディア(ランドスケープ)。施工:戸田建設。総事業費25億円。工期2014年10月~2016年2月(予定)。

建築概要——建築用途:複合

型賃貸集合住宅、RC造・S造。敷地面積:5788㎡。延床面積:6500㎡(住居棟3704㎡・商業棟645㎡、地下駐車場2151㎡)。住居棟(地上3階・地下) / 商業棟(地上1階、一部2階)。総住戸:36戸(1LDK12戸・2LDK16戸・3LDK8戸)。地下駐車場45台。入居者募集開始2015年4月の予定。

三協アルミ

「エクステリアデザインコンテスト2014」、デザイン大賞(株)インザフィールズら127点選出



三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、「エクステリアデザインコンテスト2014」で応募総数約3300点の中から、デザイン大賞・プランニング大賞、各部門のゴールド・シルバー・ブロンズデザイン賞、特別賞、地区優秀賞など127点を選出した。

審査対象は、ミューテリアライフ、トータルコーディネート、エクステリアリフォーム、パブリック、課題プレゼン、フリープレゼンの6部門。

デザイン大賞にはミューテリアライフ部門から応募の(株)インザフィールズ(倉敷市)、プランニング大賞には課題プレゼン部門応募の住友林業緑化(株)名古屋中央営業所(名古屋)がそれぞれ選出された。

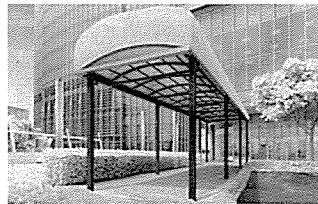
デザイン大賞は、鋳物門扉「格蘭クロス」、カポート「マイリッシュOKワイド」、跳ね上げ門扉「ラピー

ネ1型」、人工木デッキ「ひとと木」をトータルコーディネートした高度なデザインと講評された。とくに門扉や屋根にあえて存在を消すようなシャープなものを選択していると評価された。

各部門のゴールドデザイン賞—ミューテリアライフ部門:Unoジャルディーノ(千葉市)、トータルコーディネート部門:岡本ガーデン(柏原市)、エクステリアリフォーム部門:静岡セキスイハイムエクステリア沼津営業所富士店(富士市)、パブリック部門:大日本コンサルタント(富山市)、課題プレゼン部門:にわいるSTYLE(姫路市)。

四国化成工業

「ALXII電動タイプ」/アーチウェイ「ソリッドルーフAHタイプ」耐積雪150cm発売、塗り壁「京壁ファイン」「砂壁ファイン」75色に拡充



四国化成工業(山下矩仁彦会長・CEO)は、人気の大型アコーディオン門扉「ALXII電動タイプ」、アルミ製アーチウェイ「ソリッドルーフAHタイプ」の積雪荷重4500N/㎡仕様(特注品)、さらにリフォーム対応の塗り壁「京壁ファイン」と「砂壁ファイン」の多色化「SKセレクトカラー仕様」を、それぞれ新発売した。

「ALXII電動タイプ」は、リモコンまたは押しボタンスイッチで開閉できるほか、バッテリー駆動方式により施工性に優れていること

が特長。作動灯、障害物感知装置を搭載、オプションで光電センサーの取付可能。本体高さH12・14・16・18の4サイズ。フラットレールと凸型レールを用意。

「ソリッドルーフAHタイプ」積雪荷重4500N/㎡仕様は、積雪150cm相当に対応する多雪地域向けの高強度タイプ。フロントパネル付・フロントパネル無し。熱線遮断ポリカーボネート板とアルミ板を用意。

「京壁ファイン」と「砂壁ファイン」の「SKセレクトカラー仕様」は、日本建築の伝統和風色のほか、現代モダン和風建築にも合うカラフルな色彩の全75色を用意する。さらに、CCM(コンピューター・カラー・マッチングシステム)によりオリジナルカラーにも対応する。

文化シャッター

対震性能と防火・遮音・気密性能を備えたバリアフリー玄関引き戸「ヴァリフェイスAi」新発売

文化シャッター(茂木哲哉社長)は、高齢者集合住宅向けの玄関引き戸「ヴァリフェイス」シリーズに、対震性能と防火・遮音・気密性能を備えた「ヴァリフェイスAi(エアイ)」を10月1日新発売した。

高齢者向けの玄関引き戸として、基本7デザイン・木目調面材10パターンを用意。ホテル客室や医療施設にも対応する。

枠タイプは、「簡易気密タイプ」と「対震簡易気密タイプ」の2つ。対震性能は、面内変形1/120時錠前が解錠し500N以下で扉を開放。特定防火設備、気密性A-3・遮音性T-1。参考価格:有効開口幅1050×有効高さ2100mm、対震簡易気密タイプで

51万5300円。

簡易型止水シート「止めピタ」グッドデザイン賞

文化シャッターのゲリラ豪雨対策の簡易型止水シート「止めピタ」が、2014年度グッドデザイン賞を受賞した。

厚さ0.2mmの樹脂製半透明シートを採用した簡易型止水シートで、1人でも5分程度で設置可能なことが特長。女性でも設置できる手軽さ、保管性のよさ、さらに水圧を利用して止水シートをドア側に密着させるという逆転発想などが評価された。

止水ドア「アクアード」“超”モノづくり部品大賞の「日本力賞」受賞

文化シャッターのゲリラ豪雨対策の止水ドア「アクアード」が、「2014年“超”モノづくり部品大賞」の「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞した。

“超”モノづくり部品大賞は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するためのもので今回11回目。モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する。

文化シャッターは、2012年危害防止装置「エコセーフ」、2013年簡易型止水シート「止めピタ」につづき3年連続の受賞。

日本自動ドア

新サービス「環境衛生検査サービス」、首都圏から開始、汚染検査から除菌・感染症対策をワンストップで提供

日本自動ドア(吉原二郎社長)は、自動ドア業界初の「環境衛生検査サービス」の提供を首都圏エリアか

ら開始した。新サービスは、汚染状況検査から除菌・感染症対策としての除菌用品提供、さらに感染症リスクのない自動化の提案までワンストップで提供するもの。

汚染状況検査は、ドアノブなどに付着している感染症の危険がある見えない細菌や汚れを専用測定器で数値化し、その場で結果を報告する「ATP抜き取り検査」と、持ち帰った検体を日本自動ドアの研究室で精密な細菌検査を実施する「細菌検査」の2通り。

当初、首都圏エリアで自動ドア保守契約しているユーザーを対象に展開し、順次、全国エリアに拡大する計画。初年度売上高目標500万円。

カツデンアーキテック

開放感ある室内空間を実現するスチール製「室内ルーバーパーティション」を新発売

カツデンアーキテック(坂田茂社長)は、スチール製「室内ルーバーパーティション」の角パイプタイプ・丸パイプタイプを新発売した。

スチール製間仕切りは、スリムでシャープなルーバーを採用し、採光を確保した開放的な室内空間を実現できることが特長。ルーバーの本数を増やして目隠し効果や様々なカラーリングの空間を演出する。

本体サイズはH2700mmまで対応。販売価格:メーター10万円(5本/㎡・増減1本1万円)。

お詫びと訂正——10月号/No191の3ページにある高山靖司三和ホールディング取締役専務との記載は、高山盟司三和シャッター工業取締役専務の間違いでした。お詫びのうえ訂正いたします。

ビルファサード・エントランスの高意匠化・高機能化を進めるステンレスフロント市場

スチール建材と自動ドアの三和、ナブコ、テラオカ、文化の4集団でステンレス建材市場リード

ステンレスサッシ・フロントは、オフィスビルや大規模複合商業施設、医療・福祉施設、学校、店舗などのファサード・エントランスづくりに採用される。とりわけ都市開発にともなう大型プロジェクトでは、建物のグレードの高さを象徴するようにステンレスサッシ・フロント材が使用されている。ステンレス素材の高級感や重厚さ、美観性に着目した設計である。

昨年度(2013年度)の非居住用着工床面積は5625万8000㎡、前年比8.1%増と増加した。なかでも医療・福祉用1111万2000㎡、同20.2%増、卸売業・小売業用1020万9000㎡、同12.7%増と際立った伸びを示した。ステンレスサッシ・フロント市場を牽引するオフィスビル、大型複合ビル、病院、マンション、店舗などは、いずれも堅調に推移している。

こうした建築物に対応するステンレスサッシ・フロントメーカーは、難易度の高いファサード設計からエントランスドア、パネル、アート、グリル、手すりなどさまざまなニーズに応えている。そうしたオリジナルデザインへの設計・製作・施工のトータルな対応力が求められる。とりわけオリジナルデザインをこなす設計力・製作技術力をもったステンレス建材のプロ集団の存在が欠かせない。

いわゆるバブル崩壊後、ステンレスサッシ・フロント市場の再編成が進められて、三和シャッター工業・三和タジマを軸とする「三和グループ」、ナブテスコ・ナブコシステム・ナブコドア・オリエント産業の自動ドア「ナブコグループ」、寺岡オートドア・寺岡ファシリティーズ・寺岡オートドアシステムの自動ドア「テラオカグループ」、文化シャッター・BX紅雲の「文化シャッター」の大きな4つの集団を中心に形成される。

そのほかにもステンレス建材製品をあつかう企業には、大手エクステリアメーカーの四国化成工業、LIXIL、太陽光発電システム搭載カーポートの菊川工業、手すりユニットの浅野金属工業、室内用手すりのナカ工業、集合住宅用ポスト・宅配ボックスの田島金属ワーク等が挙げられる。

2013年度ステンレスサッシ・フロント市場約220億円、三和グループ100億円の大台に乗せてリード

2013年度ステンレスサッシ・フロント市場は約220億円と推定される。各社とも好調に推移したようだ。とくに、三和グループが100億円の大台に乗せたことが注目される。

グループ別にみると、三和グループ全体の売上高が103億円と大台を突破した。今年度110億円を予想する。三和タジマの売上高約80億円のうちステンレス建具は約60億円と推定される。業界トップブランドして他社をおおきくリードしつつある。グループ全体では、三和シャッター工業の営業ネットワークがステンレス建材に本格的に取り組んでいる。

ナブコグループは売上高約38億円と推定される。自動ドア市場における圧倒的なブランド力を背景に、大型プロジェクトをはじめビルフロント分野に浸透をつよめている。グループでは、ナブコシステムとオリエント産業が自社製造拠点を配置する。ナブコシステムは、ステンレスサッシ・フロント製造の専門家集団「エヌ・エス・メタル」、「エヌ・エス・トート」を中心に展開するステンレス建具のトップ企業でもある。オリエント産業も自社工場「OSステンレス」を軸に展開する九州エリアのステンレス建具のトップ企業として知られる。

テラオカグループは売上高約32億円と推定される。ステンレス建材事業は、寺岡オートドア、寺岡ファシリティーズを軸に展開する。「アートテックス」札幌工場・盛岡工場をはじめ、新潟・福岡にグループ企業直営工場、全国20箇所に協力工場を置く。ステンレス建具が採用されるケースがおおい、オフィス、複合商業施設、病院、マンションなどをターゲットに、自動ドアシステム+ステンレス建具の一式受注体制を敷く。

文化シャッターは売上高約27億円と推定される。ステンレス建材の専門家集団「BX紅雲」を加えたことで、大型プロジェクトなどの難易度の高い物件受注活動をつよめている。ステンレス中空棒「リブレイド」は、大開口ガラススクリーン建築に対応する新たなエントランス部材として高い評価を得ており、大型物件受注に大きな役割を果たしている。

これらの4大グループに、日暮工業、菊川工業らのステンレス専門老舗メーカーなどを加え、ステンレスサッシ・フロント市場の拡大が図られる。

オフィスビルや大型複合商業施設、各種ビル65%、マンション20%、中小店舗10%、病院5%の比率

ステンレスサッシ・フロント市場は、オフィスビル、大型複合商業施設、病院、学校、マンション、中小店舗などを主要なターゲットにする。

大型物件を中心に受注する三和タジマは、オフィスビルや大型複合商業施設、各種ビルが65%を占める。マンション20%、中小店舗10%、病院5%の割合。一方、自動ドアシステムの受注に重きをおくナブコシステムは、オフィスビルや大型複合商業施設、中小店舗などのビル分野が70%、マンション20%、病院・学校等10%を占める。

ステンレスサッシ・フロント業界を代表する2社の販売傾向をみても、大型プロジェクトは大型オフィス商業複合施設を核としたプランがおおきく、2015年に完工のピークを迎える。その後2020年の東京オリンピック関連事業が本格化するとの予想だが、いまのところ不透明感が漂ったままだ。

ステンレスサッシ・フロント受注で重視されていることは、ビルエントランスの定番商品ともいえる自動ドアシステムを含む開口部関連商品のトータル受注といわれる。

自動ドア系企業がもっとも得意とする分野であるが、ナブテスコや寺岡オートドアは、特定防火設備をはじめ、省エネ、気密、防音、防犯などの各種の高機能自動ドアを開発し、トータル受注体制を強化している。

* * *

また意匠面の販売傾向をみると、ヘヤライン仕上げが各社とも主力商品であるが、最近ではバイブレーション仕上げが急速に増加している。これに鏡面仕上げ、カラーステンなどの仕上げが加わる。こうしたステンカラーは、アルミビルフロントの主力カラーとして成長をつづけている。ステンレスフロントとの違いがわからないような仕上がりである。

ステンレス建具のセールポイントである美観性・意匠性をアピールする仕上げも求められる。こうした仕上げの差別化を図るために、三和タジマは指紋がつきにくく、簡単にクリーニングできる「MTバ

イブレーション」を発売した。一般的なバイブレーション仕上げよりも若干価格高になるが、ステンレスの美観性を保つには最適な商品といえる。

三和シャッター工業／三和タジマ

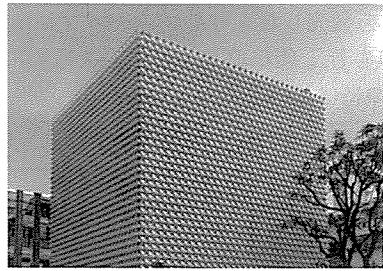
業界最高の設計対応力を強みに高難易度の大型物件受注で業界をリード、ステンレス建材100億円の台突破

【主な商品群】 ■新商品——◇「MTバイブレーション仕上げ材」(通常のバイブレーション仕上げと異なり、指紋などの汚れが付きにくく、簡単にクリーニングできることが特長)。◇強風対策用「バランスドア」(軸心をずらし引戸と開き戸を一体化したような独自機構。開口幅900mmと車椅子利用者にも対応する)。

■ステンレスフロント「シティフロント」——◇規格ステンレスフロント「ニューシティフロント」／「セレクト48」(オーダーフロント品よりも25%低価格、標準納期約2週間、角出し1mm残し曲げ加工)。◇「STスリムII」(たて框12mmのスライドタイプ、スイングタイプ)／「STスリムIIラージ」(最大ドア高さ3500mm、たて框見付20mm・見込33mm)／ST制震オートドア「しずか君」(万一ゴム部が焼失・消失しても自動ドアの傾きを制御する独自構造)／「スペースメイク」(自動ドア)／ステンレス建具一体型止水シート「STウォータープロテクト」／回転ドアシリーズ「レポフォート」(大型自動ドア回転ドア)・「レポフォートナノ」(コンパクト手動回転ドア)等。

◇特定防火設備:「ファイヤードII」(開き戸・FIX)／「ファイヤード」(開き戸・FIX)／「ファイヤードオートドア」。防火設備:「ファイヤードFPE」。1時間耐火間仕切壁:「ファイヤードIIIガラスウォール」。◇窓・その他「排煙窓」(ガラスブロック)「カウンター窓」・自動ドア用防護柵「STガード」等。◇「カーテンウォール」／「外装金属製品」(コラムカバー・サッシ・ルーバー・手すり・キャノピー等)／ヨーロッパ真鍮押出成型サッシ「ABX」／「インテリアメタルズ」(ステンレス・アルミニウム・キャストアルミニウム・ブロンズなど各種素材に対応。アルミウォールパネル「エクセル」等)／「オーナメント」／「アート」(モニュメント・レリーフ・サイン等)。

【最近の動き】 三和グループのステンレス建材事業は、三和シャッター工業、三和タジマを中心に吉



三和タジマ「表参道M3プロジェクト」の高難度の外装キャスト施工例

田製作所、田島メタルワーク、メタルワーク関西などグループ企業と連携のもとに進められている。ステンレスをはじめアルミ、ブロンズ、真鍮、チタンなどあらゆる金属製品をあつかう三和タジマの高度な設計対応力・加工技術力が、「三和タジマ」のトップブランドイメージを支えている。

ステンレスカーテンウォール・サッシ・フロント以外にも、アルミフロントや自動ドア、郵便受箱・プレート・宅配ボックスなどを扱っている三和グループは、開口部商品などのトータル受注に取り組んでいる。そのモデルケースとして、「愛知医科大学新病院」での自動ドア300台超、病室用自閉式引戸などを含む開口部製品のトータル受注があげられる。こうしたグループの総合力を活かしたトータル受注物件の拡大に重点を置いている。

三和タジマのブランド力は、難易度の高い大型プロジェクトの受注に表れている。昨年度の主な大型物件例には、「読売新聞本社ビル」(ステンレスサッシ・カーテンウォール)、「虎ノ門ヒルズ」(STスライドシステム、ステンレス建具・光壁)、「あべのハルカス」(ステンレスサッシ)、「ザ・リッツカールトン京都」(ステンレスサッシ、キャストパネル)、「愛知医科大学新病院」(ステンレスエンジンドア)などが挙げられる。また、海外物件で台湾の超高級マンション「松濤園」(ステンレスカーテンウォール)もある。さらに、写真の「表参道M3プロジェクト」ように三和タジマの高度な設計対応力を示すオンリーワン設計の外装キャスト工事も手がけている。

販売傾向をみると、用途別には大型ビル・商業施設、病院・福祉施設向け60%、マンション向け20%、中小店舗向け20%の販売比率。マンション向けと駅中のテナント店舗が増えていることが特徴。ヘヤライン60%、バイブレーション10%、鏡面10%、その他発色、ブラスト20%と大きな変化はない。バイブレーション仕上げは、独自の汚れ耐

策を施した「MTバイブレーション仕上げ材」の拡大をすすめている。

寺岡オートドア

自動ドアシステム+ステンレス建具のトータル提案で建物のエントランス・開口部の高意匠化・高機能化を進める

【主な商品群】 ■重点商品——◇耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備「Fire Door」シリーズ(SUS304の1.5mm厚・Stの1.6mm厚) —◆自動ドア防火戸(片引き:透明パイロクリアSUS2機種/透明ピランSUS1機種・St1機種。両引き:透明パイロクリアSUS1機種/透明ピランSUS1機種・St1機種)。◆手動防火戸(片引き:透明パイロクリアSUS1機種/透明ピランSUS1機種。両開き:透明パイロクリアSUS1機種/透明ピランSUS1機種)。◆FIX(透明パイロクリアSUS1機種/透明ピランSUS1機種)。◇「寺岡防火設備・複合防火設備」—◆耐熱ガラス入り開き戸(片開き・親子開き・両開き) /耐熱ガラス入り鋼製引き自動ドアなど業界随一のバリエーション。

■バリエーション——◇多機能トイレ用自動ドア「MFS-1」:角に丸みをつけた大きな表面形状の人に優しいパネル意匠と、パネル部のLED発光と音で開閉動作を確認できるスイッチサインが特長。

◇ハンズフリー入退室管理システム「テラオカすいすいスルーS&M」:タグを携帯しドアに近づくだけで自動認証するハンズフリータイプの入退室管理システム。「すいすいスルーS」は、ハンズフリーアクセスと、リーダーボタンを指でタッチするタッチアクセスの2つの認証モード。「すいすいスルーM」は、ハンズフリーモードと、センサーに手をかざすセンサーモード、アンテナの認証範囲内でタグボタンを押すボタンモードの3つの認証モード。両手がふさがりやすい病院や倉庫、工場などの施設向けにセキュリティ機能の向上と合わせて提案する。

◇ステンレス枠扉「スリムセナージ・ドア」シリーズ(開口部製品に求められる省エネ・空調効率アップ、防音・気密・防犯などの様々なニーズに対応するステンレス製自動ドアシリーズ):「I型」(たてフレーム見付25mmのA-4等級の高気密タイオブ) /「II型」(見付25mmのスリムなフレームデザイン)



寺岡オートドア…業界随一の品揃えと施工実績を誇る「耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」施工例

／「III型」(バルガード装着の防犯仕様) /「IV型」(手指の挟まれにくい安全仕様) /「V型」(高さ3m超の大開口に対応。たてフレーム見付20mm)。

【最近の動き】 自動ドア「テラオカ」のブランド力を活かして、寺岡オートドア、寺岡ファシリティーズ、寺岡オートドアシステムを中心にステンレスサッシ・フロントの開口部一式受注体制を敷いている。製造拠点は、札幌、盛岡、新潟、福岡のグループ直営工場を軸にした全国20箇所の協力工場の生産ネットワーク。

主力商品は、業界随一のバリエーションを誇る耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備「Fire Door」シリーズと、省エネ・高気密・防音・防犯などの高機能ドア「スリムセナージ・ドア」シリーズ。セキュリティ機能を求めるオフィスビルや、院内感染対策で高気密性を重視する病院など、その目的に応じた自動ドアシステムを展開している。

用途別にみると、ビル・大型商業施設が45%、病院・福祉施設・学校等が35%、マンション10%、中小店舗10%の販売割合。商品傾向では、ヘヤライン仕上げが80%と圧倒的におおく、バイブレーション仕上げ10%、鏡面仕上げ10%の割合。

最近の大型施工例には、「小樽市立総合病院」、「古河市学校給食センター」、「日本政策金融公庫福岡支店」をあげる。大量の自動ドアが採用される病院や、衛生管理面から自動ドアを採用する給食センター、さらにセキュリティ面に自動ドアを活用するオフィスビルなど、自動ドアのもつ様々な機能の応用例でもある。

今後もステンレス建具+自動ドアシステムのトータル提案による、エントランス・開口部の高機能・高意匠化を進める担い手としてステンレス事業を展開する。

ナブテスコ

業界初の引き戸とフルオープンを手軽に切り替えられる自動ドア「スライドグライド」病院ターゲットに折込み

【主な商品群】 ■新商品——◇「スライドグライド」:2014年3月新発売。業界初の引き戸とフルオープンを手軽に切り替え、快適な通行を実現する2WAYドア。少人数が通行する時は中央部のスライドドアを利用。ベッドやストレッチャーなどの搬送時には両サイドのドアを開き、フルオープンにして通行する機構。病院や医療・介護施設などに最適な自動ドアシステム。最大有効開口幅2390mm。

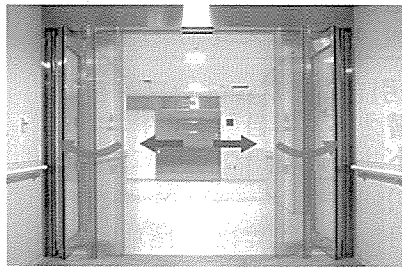
■重点商品——◇「Ecoロスカ」(携帯電話の電波を遮らない特殊膜を使用した遮熱強化合わせガラス採用。赤外線・紫外線をカットし、防虫効果にも優れていることから食品をあつかう店舗に最適な自動ドア) /関連商品に「フラットロスカドア」(2011年度キッズデザイン賞) や「ロスカドアII型」、「ロスカドアIII型」、「ロスカドアFIX」などのバリエーション。

◇「インテリジェントecoドアシステム」(2012年度キッズデザイン賞。通行者の動きを読み取り、ドアを横切る際の不要なドア開閉を減らすと同時に、外気流入量を抑えて室内環境の快適さをたもつことができる最新の賢い自動ドアシステム)。

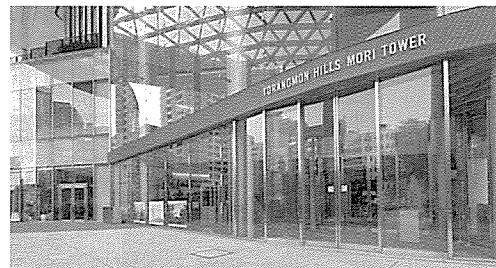
◇「多機能トイレ用自動ドアシステム」(2009年グッドデザイン賞の「HDS-4i押しボタンスイッチ」採用。青色LED採用の表示灯、和英・絵文字・点字・凸記号を併記した直径70mmの大径ボタンなどを採用したユニバーサルデザイン)。

◇「フリーオープンドア」(自動ドアの位置を目的に応じて自由にレイアウトできるエコ・省エネ対応の自動ドアシステム)。◇「パニックフリードア」(2014年度キッズデザイン賞。地震対応建具構造、手動式ブレイクアウト機構。震度5相当以上を感知して自動的にドアが開くパニックオープン機構を採用)。

◇特定防火設備「ナブコ防火ドア」:自動ドアのSUS製引戸耐熱強化ガラス8mm厚引分け4種・片引き6種。耐熱結晶化ガラス5mm厚引分け4種・片引き4種。鋼製耐熱強化ガラス8mm厚引分け4種・片引き6種) /手動開き戸のSUS製耐熱強化ガラス8mm厚両開き3種・片開き1種 /FIXのSUS製耐熱強化ガラス8mm厚単窓、2連3連4連5連の各種。



ナブテスコ…業界初の引き戸とフルオープンを手軽に切り替えられる自動ドアシステム「スライドグライド」



ナブコシステム…「虎ノ門ヒルズ森タワー」大開口エントランス自動ドア施工例

【最近の動き】日本、米国、中国、欧州の世界4極体制で自動ドア「ナブコ」ブランドの世界ナンバーワンの確立をめざしている。日本国内では、製造：ナブテスコ(株)住環境カンパニー、販売：ナブコシステム/ナブコドア/オリエント産業の強力な販売ネットワークを敷く。昨年8月の販売台数200万台達成後も更なるシェア拡大に注力している。

大型複合商業施設をはじめ医療・福祉施設、学校・公共施設などの大型ビル物件向けに、ステンレス製自動ドアの豊富なバリエーションを展開する。商品開発力と強力な販売力が一体となったネットワークが、ナブコグループを支えている。大型物件には、虎ノ門ヒルズやあべのハルカス、三井住友銀行本店、読売新聞本社ビルでの大量の自動ドア受注があげられる。

最近の新商品開発は、エコ・省エネ対策と快適な通行の両立をテーマにしている。新商品の「スライドグライド」は、ベッドやストレッチャーの通行時にフルオープンするもので、通常時には一般的なスライドドアとして使用される。

また、「インテリジェントecoドアシステム」は、不要なドア開閉を抑えることで省エネ効果を見込む。「Ecoロスカ」も「フリーオープンドア」も、省エネ対策に効果がある自動ドアシステムとして開発された。こうした建物のエントランスや開口部の用途に応じた自動ドアシステムの設計と商品構成が、トップブランド「ナブコ自動ドア」の開口部製品トータル受注体制を支えている。

ナブコシステム

無線認証システム「らく²パス」——エントランスドア・駐車場ゲート等に連動、1つの鍵でシンプルに管理

【主な商品群】■重点商品——◇ナブコ無線認証システム「らく²パス」：マンションやオフィス、施設などのセキュリティを1つのカギ「らく²パス」で、

シンプルに管理することができる最新セキュリティ認証システム。セキュリティ自動ドアや駐車場ゲート、立体駐車場用自動ドア、工場入口ドア、オートロックドア(手動ドア)と連動できる。例えば、マンション共用部では、エントランスドアのハンズフリー解錠とインターホンの連動、宅配ボックス連動、エレベーターの呼び出し連動、駐車場ドア連動、駐車場ゲート連動などハンズフリー化を実現できる。無線認証コントローラー1台で最大512個の登録が可能。

マンションを中心に実績を積みあげているが、最近の大型施工例には「晴海2丁目A2・3街区」、「大久保三丁目」などのマンション駐車場ゲート連動ケースがある。今後、マンション以外のオフィスビルテナントなどにも提案活動をつよめる。

◇新ゲートシステム「バスマース」：二重自動ドア扉構造にすることで、ドア開閉にともなう外気の注入量を抑え、建物の空調効率を向上させる新エントランスシステム。最近の大型複合ビルにおけるエレベーターのドラフト現象を抑止できると同時に、不正侵入防止のセキュリティ機能も備えている。「大型自動回転ドア」と同様に、病院やホールなどの新エントランスシステムとして提案活動をつづけている。

■「NSステンレス」——◇エントランス/フロントスクリーン/カーテンウォール/エクステリア/インテリア/アート/大型自動回転ドアなどさまざまなステンレス工事に対応する。自動ドア用防護柵「セフティーウォール」は、自動ドアの安全対策の定番商品として増えつづけている。

【最近の動き】自動ドアを中心にオフィスビルや大型商業施設、病院、マンション、店舗などのステンレス製開口部製品のトータル受注体制を構築する。自動ドアにおける圧倒的な強さを背景に「NSステンレス」は、ステンレスサッシ・フロントのリーディング企業として業界を牽引する。

北海道「エヌ・エス・メタル」、宮城「エヌ・エス・

トート」のグループ企業に、秋田「リントツ工業」、富山「ヤマシタ」などの多数の協力企業を加えた製造ネットワーク。

最近の大型施工例には、「虎ノ門ヒルズ」(多機能トイレを含む自動ドア120台、ロスカドア等)、「飯田橋再開発」(オフィス・住居のエントランス)をはじめ、「仙台市立病院」「大崎市民病院」「津軽総合病院」「秋田大学病院」などの病院、さらにJR北海道「木古内駅舎」などがあげられる。

販売傾向をみると、オフィス・大型商業施設・店舗のビル向けが70%、マンション向けが20%、病院・学校向けが10%の販売比率。仕上げ別には、ヘヤライン50%、バイブレーション45%、鏡面・カラー5%の割合。バイブレーション仕上げが増えていることが特徴。

オリエント産業

高品質・高性能ステンレス建具で九州圏を牽引、オフィス・商業施設・病院・学校など多彩なニーズに対応

【最近の動き】「ナブコ自動ドア」の九州エリアをカバーすると同時に、「オリエントステンレスサッシ」のブランド名で知られる九州圏を代表するステンレス建材メーカーでもある。

公共建築協会のステンレス建具評価認定工場として、ISO認証を取得した徹底した品質管理・製造管理のもとに、高品質・高性能なステンレス建具を製作・販売する。難易度の高いオーダー品は自社工場の「OSステンレス」で製作、一般ステンレス製品は地元の専門企業に外注し、地元重視の姿勢を貫いている。商品的には、ナブコグループの重点商品を扱うと共に、特定防火設備(FIX枠・片開き戸・両開き戸・親子戸)、ステンレス防護柵「ディフェンスキング」などを展開する。

これまでにステンレス専門メーカーとしても多くの実績を積みあげてきているが、自動ドアを主力にした開口部製品のトータル受注体制は変わらない。最近の大型施工例は、「帝京大学福岡キャンパス」、「NTT新土居町ビル」、「鹿児島県立大島病院」、「舞鶴中ブロック小中連携校」などさまざまな建築物に対応している。

用途別にみても、マンション28%、病院・福祉施設・学校など24%、ビル・大規模商業施設

22%、中小店舗16%、その他工場、ゴミ・し尿処理場10%と、大型物件から中小物件まで幅広く手がけていることが特長。

また、仕上げ別にはヘヤラインが57%と圧倒的におおく、鏡面20%、その他焼付・カラーステン・ビーズショット18%、バイブレーション5%の比率。鏡面やその他仕上げがおおいことも特徴。

文化シャッター

ステンレス中空枠「リブレイド」を活かし、眺望に優れたハイグレードの大開口ガラススクリーン建築を実現

【主な商品群】■重点商品——◇ガラスフロント用ステンレス中空枠「リブレイド」(床・天井・壁に見えかがり6mmというシャープな意匠性を実現する。高さ6000mmの大開口エントランスに対応し、眺望にすぐれたガラスフロントデザインを実現する。天井までの1枚物の大型扉をバリエーション設定。開き戸3300mm・引戸3500mmまで可能。従来のFB枠に比べて重量比約40%と軽量化している。スリムフレームの強化ガラスドア、ステンレス枠ドア、ステンレス・スチールフラッシュドアを用意)。

◇ステンレスフロント「プロフレーム」(あらゆるステンレスフロントのオーダーに対応。縦横12mmの細枠強化硝子扉や、気密性・安全性・防犯性を高めた自動ドアレール「エコフィット」、非常時全開システムの自動ドア、R型自動引分ドアなどにも対応する)。

◇「ユニフレーム」(部材の規格化により短納期・低価格化を実現。開き戸の片開き・両開き・親子開き、引戸の片引き・引分け、排煙窓・FIX枠などの品揃え)。◇「ステンレス製耐熱強化硝子入り特定防火設備」(FIX窓・大型FIX窓・FIX窓ワイド/片開き・両開き・ランマFIX付両開き/片引き・両引き・広開口片引戸)。

【最近の動き】文化シャッターのビル営業部門の一翼としてステンレス建材事業を推進する。名古屋のBX紅雲をグループに迎えて、難易度の高い大型物件受注にも力を注いでいる。

重点商品のガラスフロント用ステンレス中空枠「リブレイド」は、新発売以来ハイグレードの大開口ガラススクリーン建築を実現できると高く評価されている。すでに「羽田空港国際線ターミナルビル増築工事」に採用されている。こうしたオリジナル製

品をセールスポイントに、東京「JPタワー」などの大型ステンレス工事への浸透をつよめている。

用途別には、オフィスや大型商業施設40%、マンション30%、病院・福祉施設・学校25%、中小店舗5%の販売比率。マンション向けが比較のおおひことが特徴。表面仕上げは、ヘヤライン、バイブレーション、鏡面仕上げを標準にしている。ビル分野での強みを生かしたステンレス事業の展開が進められている。

四国化成工業

ステンレス製大型引戸、歩行補助手すり、車止めを展開、高級感・美観と耐久性を兼ね備えた商品展開

【最近の動き】 景観エクステリアのトップメーカーとして、耐久性・機能性と美観性を兼ね備えた商品開発をすすめる。その中でステンレス製景観商品は、高級感や重厚さとともに美観的にも耐久性があることがセールスポイント。

景観エクステリア商品は、安全面から所定の強度基準を満たすことが優先される。その素材としてスチール製品が長年にわたって使いつづけられている理由でもある。そうした土木製品にも美観性・景観性に配慮した時代にあった商品が求められるようになり、耐久性と美観性を満足させるステンレス製品が採用された。

同時に、美観性にすぐれたアルミ製景観商品の開発が同時に進められた。当初はスチール製品の化粧材としての扱いであったが、アルミ製の建築基準法適合品が開発されて以降、景観エクステリア商品のアルミ化が急速に進んでいる。四国化成は、そ

うしたスチールに代わる新たな景観商品開発のリーディングメーカーでもある。とりわけ通路用シェルター「アーチウェイ」シリーズは、強度面からスチール製が当たり前であったものを、強度と意匠性を兼ね備えたアルミ製建築基準法適合品に転換させたモデル商品ともいえる。

そうした中でステンレス製品は、素材のもつ高級感と重厚さ、耐久性、強度を求められるような商品として展開されている。現在扱われているステンレス製エクステリアは、大型引戸、歩行補助手すり、車止めである。

景観エクステリアの主力商品のひとつでもある大型引戸——◇「スタックラインS1型」(ステンレス製ロールホーミング材で、地面に突起のないフラットレールを採用。複連式で収納幅約3分の1のコンパクト収納が可能)。◇「ユニットラインS1型」(引戸と子扉を一体化した台車式。ノンレール部は子扉で車椅子利用者も安心して通行できる)。◇「スクーターラインS1型」(ノンレール先頭台車式。収納スペースの土間工事が不要。埋設は3ヶ所の柱を立てるだけで済む)。

歩行補助手すり「セーフティビームSB型(ステンレスタイプ)——φ42.7mm・φ38mm・φ34mm。標準タイプ:手すり1段・手すり2段・フロント2段。防護柵タイプ:手すり1段・手すり2段。並列タイプ:並列1段・並列2段。壁付タイプ/照明ユニット/ステップユニット/ステップユニットR/壁付けユニットなどのバリエーション。

車止め——◇「電動チェーンゲート」。◇「レコポールS」:同一デザインの上下式・取り外し式・固定式のDシリーズなど4タイプを品揃えする。

メンテナンスコストを抑える高意匠・高耐候の高級品拡大を急ぐ窯業系外装材/住宅外装リフォームの主力として拡大する金属サイディング

特集2:

——窯業系外装材——

販売出荷量約1億0710万㎡、前年比8.4%増と4年連続で増加、今年度一転して5~10%減の見込み

窯業系外装材の業界団体である「日本窯業外装

材協会」には9社が加盟する。旭トステム外装「AT WALL ガーディナル」「S-WALL neo」、ウベボード「UBボード」、倉敷紡績「クランセリート」、ケイミュー「ネオロック」「エクセレージ」、神島化学工業「神島防火サイディング」、昭和電工建材「ラムダ」、東レACE「完璧」、ニチハ「モエンエクセラード」「モ

エンアート」フクビ化学「フクビセラミックサイディング」などのブランド。

2013年暦年の販売出荷量は約1億0710万㎡、前年比8.4%の増加。4年連続の増加で2008年以来5年ぶりに1億㎡の大台を回復した。窯業系外装材の対象となる木造前年比11.6%増、鉄骨造同13.2%増の伸びに比べると、若干伸び率が下まわっているが、2014年13月期には前年比14.0%増加している。ただ、今年5月以降、前年割れが続いている点が懸念材料とされる。今年の販売量は5~10%程度の減少に見舞われるとの予想が出ている。

ニチハ、ケイミュー、旭トステム外装の総合外装材メーカー中心に展開高意匠、高耐候性、防汚機能付きの高付加価値商品の販売拡大をめざす

窯業系外装材市場は、長期的な新設住宅の減少に備えて、高付加価値商品の開発と販売拡大、非居住分野への浸透、リフォーム需要開拓、さらには海外市場への進出など、新たな事業展開が検討されている。

国内市場における販売シェアをみると、業界のリーディングメーカーであるニチハがシェア約50%と推定される。新発売した新世代外装材「モエンエクセラード16フュージェ」は、施工後のメンテナンスコストを大幅に抑えた商品で2014年度グッドデザイン賞を受賞した。また、国産木材チップを原料にした外装材「アドヴァンス」の開発など環境配慮型企業として業界をリードする姿勢を打ち出している。

ケイミューはシェア約39.5%と推定される。シェア40%に手の届くところまできており、ここ数年トップメーカーを激しく追いつけている。今年新発売した木目調外装材「セフィロウッド」(グラデーション塗装)、「エストレモウッド」の販売が好調で、最近人気の木目調外装材でのシェア拡大を狙っている。

上位2社につづく、旭トステム外装はシェア約10%と推定される。旭硝子のフッ素樹脂「ルミフロン」を採用した塗膜15年保証「セルフ素コート」品と塗膜10年保証「セルクリンコート」品を重点商品に、高級品ゾーンでのシェア拡大に力を注いでいる。

今後とも窯業系外装材市場は上位3社を軸に展開されると予想される。商品の販売傾向をみると、

高耐候性・セルフクリーニング・防汚機能をもった高機能外装材と、これまで以上に天然木や天然石の質感を再現した高意匠外装材の開発に力が入れられている。

高耐候性・セルフクリーニング・防汚機能付き商品では、ケイミューの光触媒コーティング外装材「光セラ」の発売後、ニチハが「ナノ親水マイクロガード機能」付き商品、旭トステム外装が塗膜15年保証「セルフ素コート」品と塗膜10年保証「セルクリンコート」品を発売している。

これらは長期間わたり外壁の施工当初の美しさを保つことをセールスポイントにしている。そのことで10年ごとに必要とされる外壁再塗装のコストを低減し、ランニングコストでは有利であることを訴求材料にしている。

また、高意匠外装材の開発では、独自の塗装技術を駆使して、より本物に近い質感、表情をもった新商品開発がつけられている。これらの高機能・高意匠な高級品の販売拡大が、業界共通のテーマとされる。

——金属サイディング——

昨年度出荷量は1660万3831㎡と前年比12.9%増の2ケタ成長、金属サイディング4強を中心に展開

金属サイディングの業界団体「日本金属サイディング工業会」には、アイジー工業、旭トステム外装、チューオー(ニチハ)、ケイミュー、東邦シートフレーム、日新総合建材、淀川製鋼所、YKKAPの8社が加盟する。

同工業会がまとめた2013年度出荷量は1660万3831㎡、前年比12.9%増と2ケタ成長した。生産量も1616万0585㎡、前年比11.5%増と大きく伸びた。おおきく成長した要因は、外壁リフォーム需要の増加にある。

販売状況をみると、アイジー工業がシェア約35%で業界を牽引する。金属サイディングのヒット商品である「ガルスパン」シリーズを主力商品に非住宅分野にも需要を開拓し、業界の中では新築向けの比率が高い唯一のメーカーでもある。

ニチハはシェア約20%と推定される。「CS型センタースパンU」や「CS型センタースパンNプレミ

アム」など非住宅向けの商品を強化している。新築とリフォームの販売比率は35対65程度。窯業系外装材では難しいリフォーム需要の獲得をねらっている。

旭トステム外装はシェア約15%と推定される。金属サイディングにも業界初の本体塗膜塗装15年の「セルフ素コート品」、またニュースタンダードシリーズに塗膜10年保証の「フッ素鋼板単色塗装品」をそれぞれ新発売するなど、高級品ゾーンのバリエーションを強化している。

ケイミューはシェア約9.5%と、シェア2ケタ台を射程内に捉えた。どちらかといえば金属サイディングは劣勢に立たされてきたが、生産移管後の初の新商品「斜石柄」のヒットによってシェアを拡大しつつある。直近の出荷実績ではシェア10%を超えるところまで拡大している。

上位メーカーに東邦シートフレーム、日新総合建材、YKKAP、淀川製鋼所がつづく展開。上位4社のシェアは約80%を占めると推定される。

とくに、窯業系外装材と金属サイディングの両分野に展開する3社の動きが注目される。

軽量さ、断熱性、耐久性をセールスポイントに外装リフォーム需要を掘り起こし西日本への浸透狙う

金属サイディングは、軽量さ、断熱性、耐久性をセールスポイントに東日本地域を中心に浸透している。とくに、積雪地域では新築住宅にも採用される。その一方、西日本地域での浸透が極端に遅れている。このテーマを克服するために、業界として年1回金属サイディング施工写真コンテストを実施するなどPR活動を展開している。西日本地域への浸透の鍵となるのが、リフォーム需要の掘り起こしといわれる。すでに販売全体の60%はリフォーム需要に向けられており、遠目からは窯業系外装材と見間違えるほど高意匠化が進められている。

さらに、スパン系サイディングの登場によって、非住宅分野への浸透に期待が高まっている。スパン系サイディングは、金属らしさを前面に出したデザインで、最近のシンプルモダン系スタイルの住宅や店舗などにもマッチする。こうした金属サイディングの良さをPR浸透させることで、全国区の外装材としてのポジション確立を狙っていく。

旭トステム外装

金属サイディングとして業界初の塗膜保証15年の最上位商品「Dan サイディングセルフ素コート品」新発売

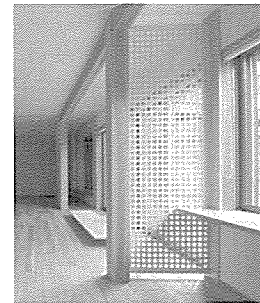
【最近の動き】 LIXILグループの住宅外装材事業を推進する中核企業。住宅の長寿命化に対応した高意匠・高耐久の窯業系外装材「AT WALL」、金属サイディング「Dan サイディング」を主力に展開、褪色しにくい・劣化しにくい・汚れにくい「きれいな壁」の実現をめざしている。

中期計画で2016年売上高270億円をめざしているが、そのうちリフォーム向けで50億円超を計画する。とくに、金属サイディングに業界初の塗膜15年保証品や塗膜10年保証フッ素商品「スパンサイディング」などで売上高40億円を計画。「Dan サイディング」を外壁リフォーム業界のスタンダード商品に育成をはかる方針。

同じく新商品の透光型耐力壁「パンチくん」は、パンチングメタルを使用した採光・通風可能なインテリア感覚の商品。外からの耐震補強壁工法「壁王」につづく耐震リフォーム建材で、外装材とのトータル提案をすすめている。

■窯業系外装材——◇最上位機種「AT WALL ガーディナル」は、18VZシリーズに新柄が追加し、「18VZ」「15VZ」の2シリーズ合計で21柄65品種に拡充された。「AT WALL ガーディナル」シリーズは、新シーリングレス工法（本体三辺合いじゃくり加工+専用ジョイント部材「カンシキくん」）を採用し、防汚機能「セルフ素コート」を搭載、本体塗膜最長15年を保証する。◇重点商品のセルフクリーニング機能商品は、塗膜15年保証「セルフ素コート」と塗膜10年保証「セルクリンコート」の2タイプ。高級品を「AT WALL ガーディナル」と塗膜15年保証「セルフ素コート」に限定しても、販売全体の40%に達している。普及品も、金具留めと「セルクリンコート」をセットに販売する。「きれいな壁」の実現に向けて、高品質の窯業系外装材を中心に展開する。

■金属サイディング——◇金属サイディングとして業界初の塗膜保証15年の最上位商品「Dan サイディングセルフ素コート品」6柄16品種を新発売した。超深絞りの「シャトーロッシュII SF」、深絞



透光型耐力壁「パンチくん」

塗装品)をラインナップした。

主力商品は、高意匠化を実現した深絞りシリーズ。販売全体の60%を占める。新築住宅を中心に好調な「スパンサイディング」シリーズは販売全体の20%弱と拡大をつづける。重点分野のリフォーム向け約70%と増加。

ケイミュー

古木の趣をリアルに表現した木目調外壁材「セフィロウッド」(グラデーション塗装) / 「エレトレモウッド」人気

【最近の動き】 窯業系外装材・金属サイディング・屋根材・雨といなど、住宅外装材の高機能化・高意匠化を推進するリーディング企業。トータルな商品提案力をベースに、窯業系外装材ではリフォーム市場・非住宅市場への展開、金属サイディングでは西日本地域への浸透をテーマに新商品開発、営業活動を強化している。

■窯業系外装材——◇2014年5月新発売された木目調外壁材のネオロック・光セラ16/ネオロック・親水セラ16「セフィロウッド」(グラデーション塗装)と、エクセレージ・光セラ15Pixcera/エクセレージ・親水セラ15Pixcera「エレトレモウッド」が大好評。古木の趣をリアルに表現した新塗装技術「グラデーション塗装」による新たな木目調外壁材として高評価を得ている。

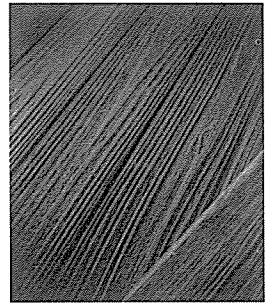
◇光触媒による分解と超親水性により、汚れを分解し雨で洗い流す機能を有する最高グレード商品「光セラ」シリーズと、無機系塗装(セラミックコート)に親水コートを施した「親水セラ」シリーズを中心に展開する。

売れ筋商品「親水セラ」シリーズほかに、無機系親水コート+パワーコートの「親水パワーコート」、

高耐候性の「パワーコート」の各シリーズも品揃えする。いずれも長耐久・低汚染タイプの「スーパーKMEWシール」を使用して、外壁材全体の高耐候・高機能化を実現する。

■金属サイディング——◇2014年4月1日新発売のデザインシ

リーズ16「雅石柄II」は、不規則に配した石積みの陰影感と細かな石の質感を表現し、ベース柄としてもアクセント柄としても最適な商品。◇売れ筋商品は、昨年新発売したヒット商品のはる・一番デザインシリーズ16「斜石柄」。住宅向けが販売全体の95%を占める。リフォーム向けの販売拡大がつづいており、販売全体の6割を超えつつある。リフォーム市場を主なターゲットに西日本地域への浸透をつよめている。



グラデーション塗装「セフィロウッド」

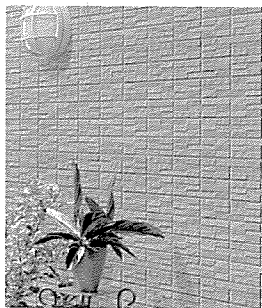
ニチハ

メンテナンスコスト負担を抑える新世代外装材「モエンエクセラード16 Fu-ge」グッドデザイン賞を受賞

【最近の動き】 環境配慮型企業として業界をリードし持続可能な循環型社会の実現を推進する窯業系外装材のトップメーカー。

創業以来培ってきた木材資源の活用技術を生かし、原料に国産木材チップを使用した外壁材として「オフセットサイディング」の生産・普及に取り組む。2012年度グッドデザイン賞を受賞した「キャストイングウッド」は、100%国産木材チップを利用したエコ外壁材。また、金具施工品として初めて国産木材チップ50%以上を使用した外壁材「アドヴァンス」も開発している。さらに、国が本格的に推進する間伐材の利用拡大によるCO₂の吸収・固定化に合わせたビジネスモデルとして、カーボンオフセットのJ-クレジット制度で認証された間伐材を利用する「カーボンオフセットサイディング」といった外壁材の展開を考えている。

■窯業系外装材——◇今年7月新発売した新世代外装材「モエンエクセラード16 Fu-ge(フュー



モエンエクセラード 16
[Fuge]

「プラチナコート」採用により、約 25～30 年相当にわたって美しい外観を保持できることが特長。同時に従来 10 年から 15 年ごとに必要とされた再塗装工事期間を大幅に伸ばし、施主のメンテナンスコスト負担を抑えるハイコストパフォーマンスを実現する。◇売れ筋商品は、プレス成形でデザイン性を高めた「モエンエクセラード」を主力とする 16m 以上の高級グレード商品。その中でも「キャストウッド」は、あえて製材したときの鋸目の軌跡を残した木質の風合いを再現し高く評価をされている。◇高級品のバリエーションは、21mm 品の光と影をテーマに開発された「風光」。16mm・18mm 品では「次世代インクジェット塗装」の最新技術を投入し、ワンランク上の高意匠を実現した「Icube オペリアシリーズ」。35m 厚の高いデザイン性で住宅、店舗のアクセント使いに最適な「モエンアート」。これらは販売全体の 5～10% 程度。また、リフォーム需要対応では、耐震改修面材「あんしん」かべ強化による耐震改修と外壁リフォームの同時施工を提案する。

■金属サイディング—◇売れ筋商品は、細石積み柄のナチュラルな風合いが人気商品。その中でもチューオーとの販売事業統合 1 周年記念商品として 7 月発売した「FB 型レフィーナウォール」が好評。窯業系のデザイン技術を折り込んだナチュラルな質感が特長。◇住宅向けと非住宅向けは 90 対 10 の販売比率。非住宅向け商品は、8 本ラインのシャープなデザインの「CS 型センタースパン U」を店舗・事務所・低層マンションのにも対応可能にした「CS 型センタースパン N プレミアム」など、軽量鉄骨造防火認定商品を多数ラインナップする。◇新築向けとリフォーム向けの比率は 35 対 65 程度。軽量設計の金属製外装材「センターサイディング」による重ね張

（ジェ）」は、2014 年度グッドデザイン賞を受賞した次世代を担う外壁材。特長は、ニチハ独自のノンシーリング「ドライジョイント工法」で継ぎ目の目立たない一体感の壁面デザイン。さらにセルフクリーニング機能「マイクロガード」搭載と超耐候塗料

り工法で対応する。また「センターサイディング」は、全商品「塗装ガリバリウム鋼板」を採用。今後、金属サイディングは、西日本エリアでのリフォーム市場の開拓を大きなテーマに掲げている。

日新総合建材

高性能ガリバリウム鋼板「セリオスサイディング」軸に展開、「スターライン F-HJ」で非住宅向けの浸透強化

【最近の動き】 高性能ガリバリウム鋼板「セリオス（日新製鋼）」を表面材料に使用した「セリオスサイディング」シリーズを主力商品に展開する。

重厚感のある天然石調、スタイリッシュなタイル調、カジュアルな焼き煉瓦調カラーの石積み柄「石壁グラジェット」をはじめ、「輝石グラジェット」「くしびきグラジェット」などを品揃えする。

重点商品のセリオスサイディング「スターライン F-HJ」は、倉庫・事務所・店舗・工場などの非住宅向け軽量鉄骨造建築物に最適な省施工外壁材。ヨコ張り・タテ張り防火構造認定（せっこうボード 15mm 屋外張り）。

メタル調サイディングには、「スターライン F」、「スターラインウッド」、「スターライン SF」（不燃下地防火）などのバリエーション。

販売傾向をみると、住宅向け 7 対非住宅向け 3 の比率。新築向けとリフォーム向けはほぼ半々。スチール製とアルミ製は 9 対 1 の販売比率。非住宅向けに、メタル調サイディングの拡大をはかっている。

LIXIL (INAX ブランド)

はるかべ工法用外装壁タイル「HAL PLUS 陶炎」「HALAGE フェザンド」「HALALL プレリユード」を新発売

【最近の動き】 内外装タイルのトップメーカーとして、住宅外装向けに乾式外装壁タイル「ベルパーチ」をはじめ、「外装壁タイル（はるかべ工法用）」、最近増えているタイルリフォーム「リタイル」（タイルラップ工法）を展開する。

主力商品のはるかべ工法用「外装壁タイル」には、やきものの趣と味わい深い表情をもち、外壁にアクセントを与える「HALPLUS」シリーズ、やきものならではの温もりをもちオーソドックスな形状の



「HALAGE フェザンド」

ビル・マンション向け・はるかべ工法用「外装壁モザイクタイル」、モルタル張り用「外装壁タイル」、モルタル張り用「外装壁モザイクタイル」をラインアップする。

新商品としては、「HALPLUS シリーズ陶炎」、「HALAGE シリーズ フェザンド」、「HALALL シリーズ プレリユード」を新発売し、各シリーズを拡充した。

いずれも LIXIL 独自のタイルの防汚技術「ナノ親水」基準を満たしている。「マイクロガード」加工タイルは、タイル表面の水になじみやすい性質を利用したもので、汚れを雨水と一緒に洗い流す効果がある。さらに 40 年相当経過しても色あせない高耐候性、キズや酸・アルカリなどにもつよく、ユーザーのメンテナンス費用を大幅に削減する効果が見込める。

非住宅向けの新商品として、はるかべ工法用「外装壁タイル」に、上品なやきものの風合いの「雅紋」、土の質感と目地を意匠に取り込んだ「グラレーア」、テッセラ面が特徴の「シャインクリスタ」、ラフな面状と釉薬の表情が調和した「グレイズラフ」の 4 シリーズを新発売した。これらは有機系接着剤張り工法が日本建築学会「建築工事標準仕様書」（2012 年）、国土交通省の「公共建築工事標準仕様書」（2013 年）に盛り込まれたことによる今後の需要増加に対応するもの。

一方、住宅外壁材の最高グレード品・乾式外装壁タイル「ベルパーチ」は、ブリックタイプの 27mm 厚「ベルパーチ テッセラ」をはじめ、17mm 厚「ベルネスト」、14mm・15mm・16mm 厚「ベルニューズ」など豊富なバリエーション。専用ベースサイディングにタイルを引っ掛けて張る工法。

さらに、「リタイル」は、既存の外壁にネットをビス止めし、その上から専用接着剤で直接タイルを張

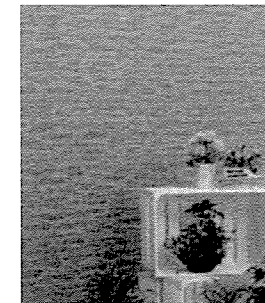
る工法。木造、鉄骨造、RC 造など幅広く対応できる。「HALAGE」シリーズ、豊富なカラーバリエーションで全面張りに最適な「HALALL」シリーズがある。そのほかにも、住宅向けには、はるかべ工法用「外装壁タイル」、はるかべ工法・モルタル張り共用「外装壁タイル」、

る工法。木造、鉄骨造、RC 造など幅広く対応できる。

YKK AP

重点商品の深絞りシリーズに石目調の新デザイン「ロカストーン」「シャイニークォーツ」「クリアパミス」発売

【最近の動き】 アルミ外装材「アルカベール」シリーズを全国展開する。窯業系外装材やスチールサイディングを扱わず、アルミサイディングに特化した住宅外装リフォーム市場への浸透を進める。



深絞りシリーズ「ロカストーン」

新商品として「アルカベール 深絞りシリーズ」に、インクジェット塗装商品（クオリティジェット）の「シャイニークォーツ」（石英モチーフのデザイン）と、「クリアパミス」（大谷石モチーフ）を発売した。UV インクを使用した繊細でクリアな表現力で素材の表情をリアルに再現する。

10 月新発売の深絞りシリーズ「ロカストーン」は、天然石の小端積みをモチーフにした繊細な陰影をもつデザイン。現代的な折衷スタイルに仕上げられ、新築・リフォームに幅広く対応できる。

商品体系は、高級グレードのフッ素塗膜 10 年保証品「モダンシリーズ」（ラインパークスパン、ラインパーク）と、マトル塗装の原板 10 年保証品「深絞りシリーズ」（恵石、きらめき、ビットストーン等）、中級グレードの「ハイスタンダードシリーズ」（プレス、ロンド、カーレ）、普及グレードの「スタンダードシリーズ」（タテ張り焼杉調、ノベルライン等）で構成する。

それぞれの売れ筋商品は、モダンシリーズで「ラインパークスパン」販売全体の 10% 弱、深絞りシリーズで「恵石」「きらめき」「ビットストーン」同 15%、ハイスタンダードシリーズで「ロンド」同 20% 弱、スタンダードシリーズで「ノベルライン」同 10% 強の比率。

住宅向けと非住宅向けは 96 対 4 と、圧倒的に住宅外壁材として採用されている。新築向けとリフォーム向けは、リフォーム向けが 8 割を占める。アルミサイディングの特長である高耐候性、軽量さ（1㎡あたり 1.9kg）、施工性などをセールスポイントにリフォーム市場での更なる拡大をめざしている。

ナブコグループ全国販売推進運動

自動ドアシェア奪回、ブランド価値向上で大きな成果、グループの結束力で世界のナブコへブランド力強化



三代洋右社長

ナブコグループは10月20日、神戸市のホテルオークラ神戸で、「第35回全国販売推進運動」表彰式を開催した。表彰式には、ナブテスコ(株)住環境カンパニー・三代洋右社長、ナブコシステム・山村望社長、ナブコドア・犬飼伸幸社長、オリエント産業・今浪健治社長をはじめおよそ100人あまりが列席した。

冒頭、三代社長は「昨年累計販売台数200万台を達成し、今年の販売推進では3地区とも契約目標台数を上回る成果をあげ、自動ドアナンバーワンの地位を揺るぎないものことができました。とくに東日本は目標を大幅に上まわったと聞いています。業界の熾烈な競争も最終ステージに入ったと認識しています。今後、間接部門を含めてナブコブランドの価値向上をすすめていく」と挨拶した。



左から山村望社長、犬飼伸幸社長、今浪健治社長

引き続きナブコシステム・山村望社長、ナブコドア・犬飼伸幸社長、オリエント産業・今浪健治社長がそれぞれ挨拶に立ち、グループの結束力をもってシェアアップの実現、ナブコのブランド価値を高めていくと述べた。

「自動ドアシェア奪回及びストック増促進と差別化商品拡販」をテーマに展開され全国販売推進運動では、自動ドア部門でナブコシステムが契約目標台数2508台オーバー、ナブコドア704台オーバー、オリエント産業851台オーバーで、3社とも目標をオーバーしメーカー賞を受賞した。

差別化商品部門では、ナブコシステムがスライドグライド5物件折込・Ecoロスカ7枚・エコ対応センサー41台・HDS-4i 419台の成績。ナブコドアがスライドグライド発注8台・Ecoロスカ7枚・エコ対

応センサー22台・HDS-4i 127台の成績。オリエント産業がEcoロスカ2枚・エコ対応センサー4台・HDS-4i 34台の成績。それぞれ表彰された。

LIXIL

「住まいの価値を維持向上させるサービス」拡大、戸建住宅オーナー向けの会員制住宅管理サービスを開始

LIXIL(藤森義明社長)は、住宅・サービス事業の重点戦略として、①住まいの価値を維持向上させるサービス、②シニア対応サービスの拡大、③金融サービス「LIXILフラット35」の拡大を掲げて、住宅・サービス事業の強化に取り組む。これを通じて、LIXIL住宅研究所を中心とする住宅・サービス事業2013年度売上高642億円を2016年に790億円に拡大する(松村はるみLIXILグループ専務)。

・とくに、中古住宅の流通を活発化させるベースとなる、住まいの価値を維持向上させるサービスの充実・拡大に力を入れる。その第一弾として、ジャパンホームシールドが、業界初の戸建住宅オーナー向け会員制住宅管理サービス「ハウスオーナークラブ住生活サポートサービス」を10月1日から開始した。住宅管理業が確立していない戸建住宅を対象にしたもので、設備トラブル緊急サポートや住宅点検サービス、お手伝いサービスなどを無料で行なうサービス。

また、住宅の価値を見える化する「住宅検査・評価サービス」を、5月から宅建事業者向けトライアルを展開している。これは第三者が中古住宅の検査・評価・査定し、売却・購入がしやすいしくみの構築をめざすもの。

YKK AP

東北エリア供給拠点の「東北事業所窓工場」と西日本エリア初の樹脂窓供給拠点「六甲窓工場」の操業を開始

YKK APは、東日本の中核事業所「東北事業所」(大崎市)に進めていたガラス棟を含めた「窓工場」の操業を8月28日開始した。

2009年7月から樹脂窓「APW330」の生産をお



東北事業所窓工場



松村はるみ専務

こなっているが、今回、ガラス棟を含めた窓専用工場を建設したもの。新規設備と移設設備を合わせた生産能力は従来比2.8倍(年間14万窓)に増強された。窓工場概要——建築面積1万5601㎡、述床面積3万0039㎡、鉄骨造地上2階建て。投資額は建屋・設備を含め約41億円。設計:山下設計、施工:大林組。

一方、西日本エリア初の樹脂窓供給拠点「六甲窓工場」は9月11日操業を開始した。「APW」シリーズの関西エリアへのタイムリーな供給と、中国・四国・九州エリアへの供給を担う。生産能力は年間9万窓。3つ目の窓工場稼働にともない樹脂窓生産能力は前年比約2倍に拡大した。建築面積約6700㎡、述床面積約1万㎡、鉄骨造地上2階建て。投資額は建屋改修工事を含め約18億円。設計:安井建築設計事務所、施工:鹿島建設。

* *

YKK APは、10月20日受注分からYKK AP製建築用加工ガラス(複層ガラス・Low-E複層ガラス)の価格を、10~20%値上げする。

「使い方&お手入れガイドブック窓・ドア編」、日本マニュアルコンテスト2014で「部門優秀賞」&「企画賞」受賞

YKK APの施主向け取扱説明書「使い方&お手入れガイドブック窓・ドア編」が、一般財団法人「テクニカルコミュニケーター協会」が主催する「日本マニュアルコンテスト2014」で、紙マニュアル一般部門の「部門優秀賞」&「企画賞」受賞した。開発本部価値検証センター生活者視点推進室が制作。窓特有の名称を知らない使用者が必要ときに必要な情報にアクセスできるように、図解中心のわかりやすく、使いやすいマニュアルであること雅評価されたもの。

LIXIL

改装用オートドア「オートドアスリム100R」に工期・費用を抑える「ハツリレスレール」「省施工レール」追加発売

LIXILは、フロアヒンジドア(手動ドア)を自動ドアにリフォームできる改装用オートドア「オートドアスリム100R」(特許出願中)に、最短1日でのリフォームが可能な「ハツリレスレール」「省施工レール」2種類を追加、拡販活動を展開中。

「ハツリレスレール」は、ハツリ工事や左官工事の必要がない床の上にビスを固定する簡単施工。床を

掘り起こせない2階部にも自動ドア設置が可能になる。レール(最大部高さ20mm)のまわりには専用のアルミ製スロープ部材を設置するバリアフリー仕様。床タイルなどの増し張りにも対応する(特許出願中)。

「省施工レール」は、床に小さな溝を掘り、そこにレールを埋め込みビスで固定するだけの簡単施工。どちらも大掛かりなハツリ工事や埋め戻しの左官工事が不要となり、工期や費用を抑えることができる点が特長。

『「リフォームを贈ろう。」LIXIL秋のショールームフェア2014』全国96カ所のショールームで実施

LIXILは、9月1日から11月30日まで全国96カ所のショールームで、『「リフォームを贈ろう。」LIXIL秋のショールームフェア2014』を開催中。システムバスルーム「スパージュ」やリフォーム玄関ドア「リシェント」など全17種対象商品を見積り・成約したユーザーの中から抽選で1200名に賞品プレゼントを実施している。

AEO制度にもとづく「特例輸入者」承認を東京税関より7月31日取得

LIXILは7月31日、東京税関より特例輸入申告制度にもとづいた「特例輸入者」の承認を取得した。これにより輸入申告時の納税のための審査・検査が基本的に省略され、貨物の引き取り後に納税申告が可能になる。このため輸入貨物の迅速かつ円滑な引取りがおこなえるようになり、コスト削減につながる。

昭和フロント

安全性・利便性に配慮した「ダブルスライド自動ドア(直付タイプ)」発売

昭和フロント(長谷川伸二社長)は、「ダブルスライド自動ドア(直付タイプ)」を展開している。

一般的な自動ドアに比べて約1.3倍の有効開口を確保することができる二重引き自動ドア。これまでオーダー対応していたものを、最近の少子高齢化にともなう安全性・利便性に配慮した自動ドアニーズに対応し、アルミ形材製専用枠を開発、一般商品としてラインアップした。設計範囲は、片引き:最大3450mm×H2500/DW1200×DH2500。引分け:最大6000mm×H2500/DW1050×DH2500。FIX枠見込み100mm・框見付60・下レール仕様。